

## ＜石西礁湖自然再生全体構想の概要＞

平成 19 年 9 月 1 日作成

### ■自然再生の対象となる区域

石西礁湖自然再生を進めていく際には、石西礁湖だけではなく、石垣島や西表島周辺に発達しているサンゴ礁、干潟、マングローブ林などの関連する生態系を対象として必要な取組を進めていくことが重要である。

このため、石西礁湖自然再生では、次の両区域を合わせて対象区域とする。

#### ①重要な区域〈石西礁湖〉：

西表石垣国立公園の公園区域を参考に、東西約 30km、南北 20km で囲まれる礁湖内の海域。

#### ②関連する区域〈石垣島、西表島周辺海域（①以外の区域）〉：

石垣島及び西表島周辺海域のうち、概ね 50m の等深線に囲まれる範囲を基本とし、西表島や石垣島の周辺に発達した湾や裾礁などを含むように設定。

また、石垣島や西表島、石西礁湖内の島々の陸域についても、「自然再生に関連する活動を行う区域」とし、統合的な取組を進めていく。



### ■自然再生の目標

#### ○長期目標（達成期間 30 年）：

人と自然との健全な関わりを実現し、1972 年の国立公園指定当時の豊かなサンゴ礁の姿を取り戻す。

#### ○短期目標（達成期間 10 年）：

サンゴ礁生態系の回復のきざしが見られるようにする。そのために環境負荷を積極的に軽減する。



未来の石西礁湖のイメージ

### ■石西礁湖自然再生協議会構成員（平成 21 年 1 月現在）

個人 27 名、団体・法人 27 団体、関係行政機関 26 機関 計 80 名